ドイツ特許商標庁（DPMA）、2021年の年次統計を公表

2022 年 3 月 17 日
JETRO ﾃﾞｭｯｾﾙﾄﾞﾙﾌ事務所

ドイツ特許商標庁（DPMA）は、2022 年 3 月 9 日、2021 年の年次統計をプレスリリースにて公表した。過去 30 年以上の中で、DPMA は最も多くの特許・商標出願に対する審査の最終処分を行い、久しぶりに審査待ちの案件を減らすことができた旨、特許出願件数は減少したものの、商標出願件数は過去 22 年の中で最高水準であった旨、報告している。

DPMA のプレスリリース及び年次統計には、以下の内容が含まれている。

商標、特許、実用新案及び意匠の出願

＜商標＞

商標出願件数は、92,317 件（前年比 3.2%増）となり、過去 22 年間で最高となった。医薬品、医療機器等の関連分野における出願件数が 2021 年は顕著に減少しており、これは 2020 年の新型コロナウイルス感染症のパンデミックに関連する分野での出願件数が異常に高かったことを背景に説明することができる。また、その代わりに、食・スポーツ・娯楽に関する分野の商標出願が増えており、パンデミックによる消費習慣の構造的変化が原因である。

＜特許＞

特許出願件数は、58,568 件となり、前年比で 5.7 %の減少となった。しかし、審査請求件数はパンデミックによる減少は続かず、43,155 件と前年と同水準にとどまった。先行技術調査請求件数は、14,920 件（前年比 4.8%増）と前年度比で再び大きく増加した。先行技術調査請求は、国際出願のための特許性評価に利用されることが多く、特許性があれば国際出願を行うこと等からみても、特許の需要は衰えていないとしつつ、特許を求めるわけではなく、予防的な意味合いで行われることもある審査請求をしない出願については、多くの企業が出願自体を見送ったようである。

伝統的に強い技術分野である「エンジン、ポンプ、タービン」分野の出願件数の著しい減少（前年比 15.1%減）が特に顕著である。この主な理由は、自動車産業における内燃機関から電気自動車への技術革新にある。内燃機関に関する発明が減少しても、電動モビリティに関する技術分野での特許出願が大幅に増加した。

2021 年は「医療機器」分野（前年比 17.0％減）、「その他の消費財」分野（前年比 26.0％減）の技術分野の出願件数は、（新型コロナウイルスが拡大した）2020 年にこれらの分野の出願件数が急増していたことと比較すると著しく減少している。

電池や燃料電池などを含む 「電気機械、電気装置、電気エネルギー」分野は、数少ない増加傾向にある技術分野である。「デジタル通信」分野（6.1%増）などのデジタル化のサブ分野でも増加し、移動体通信の新標準規格「5G」に関連する特許出願も含まれる。例年通り、イノベーション活動が最も活発だったのは「運輸」分野（2.8%減）で、合計 10,482 件の出願があり、自動車産業の企業が特に積極的に出願している。

全体の出願件数は減少しているが、自動車産業が引き続き上位を独占しており、2021 年の上位 10 出願人はすべて自動車メーカーまたは関連するサプライヤーであった。

DPMA の Cornelia Rudloff-Schäffer 長官は、「（特許の出願件数は）新型コロナウイルスの大流行による経済的影響を未だ反映したバランスになっている。多くの企業は、出願を厳選している。しかし、明らかに多くの重要な発明の保護が求められていることは、イノベーションの拠点としてのドイツにとって良い兆候である。出願件数のトレンド変化のもう一つの理由は、多くの大手メーカーやサプライヤーを抱えるドイツ自動車産業における技術の変化が特に大きな影響を及ぼしている」とコメントしている。

＜意匠＞

意匠の出願件数は 5,607 件（前年比 7.5%減）、出願意匠数は 36,070 件（前年比 10.1 %減）となった。

＜実用新案＞

実用新案の出願件数は、昨年とは反対に減少し、10,577 件（前年比 14.1%減）となった。昨年出願件数が急増した「その他の消費財」の技術分野での出願が今年は上位 5 技術分野にランクインしていなかった。

特許及び商標の審査手続等の実績

＜特許＞

特許審査における最終処分件数は 48,489 件（前年比 16.1%増）、拒絶件数は、付与件数とほぼ同程度増加し、10,322 件となった。付与件数を最終処分件数と比較すると、付与率は 43.5%である。これは、例年とほぼ同じ数字である。また、出願取下げ件数等を含むその他の件数は、17,054 件（前年比 6.6%増）であった。

最終処分件数の増加により、DPMA は久しぶりに審査待ちの案件を減らすことができた。また、過去数年にわたる採用活動の成功と、ミュンヘンおよび 2022 年以降初めて導入されるイエナオフィスでの審査スタッフの継続的な増員により、今後数年間は審査期間の短縮が期待される。

＜商標＞

国内商標について、最終処分件数は 91,613 件（前年比 15.1%増）、登録件数は 68,597 件

（13.5%増）であり、これは同庁の歴史において過去最高である。

特許、実用新案、商標及び意匠等に関する統計

＜特許＞

◆一般

出願件数	58,568 件（前年比 5.7%減）
外国からの出願	18,756 件（前年比 5.5%減）
審査請求件数	43,155 件（前年比 0.4%減）
最終処分件数	48,489 件（前年比 16.1%増）
付与件数	21,113 件（前年比 22.0%増）
拒絶件数	10,322 件（前年比 22.1%増）
その他（取下げ等）の件数	17,054 件（前年比 6.6%増）
付与率	43.5%（前年は 41.5%）
現存特許権件数	134,715 件（前年比 1.8%増） ※ドイツ国内で有効な欧州特許を含めると、合計 877,351 件がドイツ国内で有効な特許となる。

◆出願件数（出願人別）

順位	出願人	所在地	件数
1 位	ボッシュ（Robert Bosch GmbH）	ドイツ	3,966 件
2 位	BMW（Bayerische Motoren Werke AG）	ドイツ	1,860 件
3 位	シェフラー（Schaeffler Technologies AG & Co. KG）	ドイツ	1,806 件

◆出願件数（技術分野[1]別）

順位	技術分野	件数
1 位	運輸	10,482 件（前年比 2.8 %減）
2 位	電気機械・電気装置・電気エネルギー	7,168 件（前年比 2.0%増）
3 位	計測	4,490 件（前年比 2.0%減）
4 位	機械部品	4,080 件（前年比 8.0 %減）
5 位	コンピュータ技術	2,891 件（前年比 8.0 %減）

＜実用新案＞

出願件数	10,577 件（前年比 14.1%減）

[1] WIPO IPC concordance table によるもの

外国からの出願	3,559 件（前年比 4.1%増）
最終処分件数	11,337 件（前年比 7.3%減）
登録件数	9,972 件（前年比 7.1%増）
現存登録実用新案件数	72,728 件（前年比 2.8%減）

＜商標＞

◆国内商標及び国際商標

出願件数	92,317 件（前年比 3.2%増）

◆国内商標

出願件数	87,631 件（前年比 3.6%増）
外国からの出願	5,816 件（前年比 1.5%減）
最終処分件数	91,613 件（前年比 15.1%増）
登録件数	68,597 件（前年比 13.5%増）
登録率	74.9 %（前年は 75.9%）
現存商標権件数	868,401 件（前年比 2.7%増）

◆国際商標

ドイツでの保護付与の請求件数	4,686 件（前年比 2.8%減）
保護付与件数	3,406 件（前年比 14.4%減）

＜意匠＞

出願意匠数[2]	36,070 件（前年比 10.1 %減）
最終処分意匠数	34,487 件（前年比 16.6%減）
登録意匠数	31,083 件（前年比 16.3%減）
外国からのもの	2,760 件（前年比 29.5%減）
現存登録意匠数	270,447 件（前年比 6.9%減）

＜財政＞

黒字	2 億 1,470 万ユーロ（前年比 13.4%増）
収入（ほぼ全て手数料）	4 億 6,320 万ユーロ（前年比 9.1%増）
支出	2 億 4,850 万ユーロ（前年比 5.7%増）

－　DPMA の 2021 年の年次統計に関するプレスリリース等は、以下参照　－

[2] 2021 年の暫定値

（プレスリリース）

Number of patent grants at record level（英語）

Zahl der Patenterteilungen auf Rekordniveau（ドイツ語）

（2021 年の年次統計）

統計全般：Statistics（英語）、Statistiken（ドイツ語）

特許　　：Patents（英語）、Patente（ドイツ語）

実用新案：Utility Models（英語）Gebrauchsmuster（ドイツ語）

商標　　：Trade Marks（英語）、Marken（ドイツ語）

意匠　　：Designs（英語）、Designs（ドイツ語）

（以上）